

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

| | | | |
|------|------------------------------|-------|------------|
| 事業所名 | クリエイティブ ラボ エーアール | 事業所番号 | 4110800077 |
| 住所 | 佐賀県西松浦郡有田町中樽 3 丁目 1 7 0 番地 2 | 管理者名 | 金川理恵子 |
| 電話番号 | 0955-25-9260 | 対象年度 | 令和4年 |

地域連携活動の概要

| <活動内容> | <活動の様子> | | | | | | | | |
|---|-----------------------|---------------------|--------------|---------------------|--------------------|-----------------------|---|----------|--|
| <table><tr><td>活動場所:</td><td>株式会社キーストンの工場内</td></tr><tr><td>実施日程:</td><td>令和4年12月1日～令和5年3月31日</td></tr><tr><td>実施した生産活動・施設外就労の概要:</td><td>プラスチック製品製造、及び検品、梱包作業。</td></tr><tr><td>利用者数:</td><td>毎月10～13人</td></tr></table> | 活動場所: | 株式会社キーストンの工場内 | 実施日程: | 令和4年12月1日～令和5年3月31日 | 実施した生産活動・施設外就労の概要: | プラスチック製品製造、及び検品、梱包作業。 | 利用者数: | 毎月10～13人 |  <p>活動内容の追加コメント① 連携先企業工場内での立作業をしている様子。</p> <p>写真①)活動様子の写真</p> |
| 活動場所: | 株式会社キーストンの工場内 | | | | | | | | |
| 実施日程: | 令和4年12月1日～令和5年3月31日 | | | | | | | | |
| 実施した生産活動・施設外就労の概要: | プラスチック製品製造、及び検品、梱包作業。 | | | | | | | | |
| 利用者数: | 毎月10～13人 | | | | | | | | |
| <table><tr><td>地域連携活動のねらい:</td><td>事業外での作業を通して、社会性を学ぶ。</td></tr><tr><td>地域にとってのメリット:</td><td>連携企業の生産性向上が期待できる。</td></tr><tr><td>対象者にとってのメリット:</td><td>一般就職を向けての社会経験をえられる。</td></tr></table> | 地域連携活動のねらい: | 事業外での作業を通して、社会性を学ぶ。 | 地域にとってのメリット: | 連携企業の生産性向上が期待できる。 | 対象者にとってのメリット: | 一般就職を向けての社会経験をえられる。 |  <p>活動内容の追加コメント② プラスチックのバリ取り作業をしている様子。</p> <p>写真②)活動様子の写真</p> | | |
| 地域連携活動のねらい: | 事業外での作業を通して、社会性を学ぶ。 | | | | | | | | |
| 地域にとってのメリット: | 連携企業の生産性向上が期待できる。 | | | | | | | | |
| 対象者にとってのメリット: | 一般就職を向けての社会経験をえられる。 | | | | | | | | |
| <table><tr><td>実施した結果:</td><td>利用者の労働意欲が増した。</td></tr><tr><td>得られた成果:</td><td>連携企業の生産性が上がった。</td></tr><tr><td>課題点:</td><td>作業の効率化を図り更なる生産性を高める。</td></tr></table> | 実施した結果: | 利用者の労働意欲が増した。 | 得られた成果: | 連携企業の生産性が上がった。 | 課題点: | 作業の効率化を図り更なる生産性を高める。 |  <p>活動内容の追加コメント③ 梱包作業をした直後の製品。</p> <p>写真③)成果物の写真</p> | | |
| 実施した結果: | 利用者の労働意欲が増した。 | | | | | | | | |
| 得られた成果: | 連携企業の生産性が上がった。 | | | | | | | | |
| 課題点: | 作業の効率化を図り更なる生産性を高める。 | | | | | | | | |

連携先の企業等の意見または評価

連携した結果に対する意見または評価

毎日の連携がとても効果的であることが見て取れます。事業所間の明確なコミュニケーションと、それぞれの役割の理解は業務の流れをスムーズにし、全体の生産性を向上させています。また、その連携は一貫性と責任感を強化し、個々のタスクだけでなく全体の目標に対するコミットメントも高まっているように感じます。各メンバーが自分の役割を理解し、それぞれが自分の部分に最善を尽くすことで、最終的な結果が向上しているのは明らかです。

今後の連携強化に向けた課題

全体として、この連携の結果は非常に良好であり、それにより業務の効率性が高まり、更なる成功への道を開いています。今後もこのような連携を続け、さらなる改善を追求していくことが重要だと思います。

| | | | |
|--------|-----------|------|------|
| 連携先企業名 | 株式会社キーストン | 担当者名 | 北川和男 |
|--------|-----------|------|------|